

平成29年度淀川区区政会議 第2回安全・安心なまち部会 議事要旨

日 時：平成30年1月16日（火）18:30～20:18

場 所：淀川区役所 5階 504会議室

出席者：

・委員6名（7名中）

泉委員（議長）、久保委員、光在委員、福岡委員、山岡委員、米山委員

[欠席：一丸委員（副議長）]

・区役所

西政策企画課長、鳶岡保健福祉課長、松田市民協働課相談調整担当課長代理 他

内 容：

1. 開会
2. 事務局あいさつ
3. 議長、副議長の選出について
4. 議題
 - (1) 安全・安心なまちづくりの取り組みについて
 - (2) 淀川区将来ビジョンについて

資 料：

次 第

資料 1 部会名簿

資料 2 座席表

資料 3 2018年度運営方針（素案）（経営課題1）

資料 4 2018年度（平成30年度）区長自由経費予算要求額一覧

資料 5 区政会議における2018年度（平成30年度）運営方針に関する意見への対応方針（追加分）

資料 6 区政会議における淀川区将来ビジョンに関する意見への対応方針（追加分）

資料 7 淀川区将来ビジョンに関するパブリックコメント手続きの実施結果について

[その他] 「よどマガ!1月号」「YODO-REP041」各事業案内リーフレット

1. 開会

2. 事務局あいさつ

3. 議長、副議長の選出について

○互選により、泉委員を議長に、一丸委員を副議長に選出。

4. 議題

(1) 安全・安心なまちづくりの取り組みについて

○資料4、資料5、資料6の説明及び議題1の進め方について説明。

(西政策企画課長)

○2018年度運営方針の具体的取組(防災対策)について説明。

(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

質疑応答・意見交換

- ① 各地域の避難所を知っている区民が、どのくらいおられるかを把握されてますか。
避難所を知らないという人が多ければ、役所も地域ももっと広報が必要だと思います。
(福岡委員)

⇒回答

現在実施している第2回の区民アンケートで、避難所を知っている区民の割合を調査しているところでございます。(市民協働課防災担当職員)

- ② 災害が起きたときに、気兼ねして車の中で過ごしたり、体調を崩されることが結構あるようです。他都市では、そういう方が安心して集まっていただけの福祉避難所を検討、設置したと聞いたことがあります。淀川区内の病院等が福祉避難所になってもらえたら一番ありがたいです。そういう検討も必要だと思っています。(米山委員)

⇒回答

福祉避難所も今後検討が必要であると考えております。基本的には要援護者の方は災害が発生しますと、避難所のほうに来ていただき、福祉避難所を開設できるという状況がわかれば、その時点で順次移動していただくことになっていくと思います。ただ、全体数がなかなか確保できるかどうかが問題でありますので、その辺も含めて今後検討していきたいと思っております。(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

- ③ 見守り支援体制について、何も要支援の問題だけではなく、避難所の運営においても一応は各地域で役割を決めていますが、その人らがそこへ来られるか来られないかわからないし、防災リーダーの半分は勤めにいっており、足りないわけです。避難所にいる人で賄うような体制をつくらないといけないと思います。要支援の問題と避難所開設の問題と、リーダーシップが重要になってくると思います。(福岡委員)

⇒回答

地域で取り組んでおられる防災訓練が一段落すれば避難所開設訓練にシフトしていただきたいと考えております。要援護者の方の名簿も避難所開設訓練にお持ちいただき、こういう方が要支援者ですよという話をしていただかないと、避難所運営でそういう要支援の方々をどこへ転送していくかという計画も立てられないという状況になります。避難所開設訓練というのが非常に重要で、そのトップの方は強いリーダーシップを発揮していただく必要があり、そういう訓練をしないとなかなか追従できないと思います。

(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

- ④ 地域の防災訓練があれば中学生に対して、防災訓練に参加するように役所から言ってほしいです。地域からも働きかけますが、役所からも支援してほしいです。(福岡委員)

加島地域では、美津島中学校に防災隊があります。地域の防災訓練等にも参加しております。(光在委員)

三国地域では、去年授業の一環で中学と合同で防災訓練をしました。学校・家庭・地域の普段からの連携が大切だと思います。中学生は普段、日常いてますので、まず初動要員としたら中学生というのは多分力になると思います。(泉議長)

⇒回答

中学生への防災訓練の参加要請については、中学生の参加に対して、地域の方々もいろいろ御意見をお持ちですので、その方々の意見も聞きながら検討していきたいと思います。また、地域の防災の主体を担う若い人材の育成ということで、中学生のジュニア防災リーダーを育成しております。(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

○2018年度運営方針の具体的取組(防犯対策)について説明。

(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

質疑応答・意見交換

- ① 地域での防犯カメラの利用について、教えてください。(山岡委員)

⇒回答

防犯カメラの設置場所は、基本的に所轄警察署と協議をしながら決めております。各地域からのご要望は、所轄警察と情報共有しながら、設置場所を決めているという状況です。画像データの利用については、警察からの事件に関する画像提供について問い合わせがあります。(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

- ② 防犯カメラを設置したら変質者も出なくなったということで、死角に当たる部分に防犯カメラを設置し監視しています。それができてから、がらっと減ったと聞いています。

(米山委員)

⇒回答

防犯カメラがあるだけでかなり抑止効果があります。

(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

- ③ 防犯カメラもいいと思いますが、結構効果があったと思うのは、防犯ちょうちんです。また、各玄関の門灯をつける門灯大作戦という運動があったと思いますが、我々の地区は現在でもまだ続けており、効果があります。(久保委員)

⇒回答

明るくすることで犯罪抑止につながっていきますので、是非とも続けていただきたいと思います。(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

- ④ 明るさを保っていれば犯罪の抑止につながる、確かにそういう検証もあったと聞いています。地域によったら明る過ぎるということで、光公害の苦情があるのも確かです。ですので、地域の理解が必要かもしれません。(泉議長)

⇒回答

それは非常によくあるんです。明る過ぎて困るという話も昔、今も多分あると思います。(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

- ⑤ 宮原操車場のアンダーパスの蛍光灯が切れており暗いので、新しいものに交換してほしい。(久保委員)

⇒回答

建設局へ確認させていただきます。(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

○2018年度運営方針の具体的取組(地域福祉の推進)について説明。(鳶岡保健福祉課長)

質疑応答・意見交換

- ① 認知症患者のおられる御家族の方は、苦勞されると思います。独居の方も認知症だと大変困ります。(米山委員)

⇒回答

御本人は認知症という自覚はもちろんございませんし、家族の方が大変お困りになっているというケースをたくさん見聞きしています。地域の包括支援センターが一番高齢者の身近な窓口ですが、大阪市では認知症の初期に集中して関わる支援事業を各区1カ所で行っています。淀川区であれば東部の包括支援センターの中にございます。包括と連携しながら進めていきたいと思っております。(鳶岡保健福祉課長)

② 地域福祉計画をつくられた地域は、あるのでしょうか。(福岡委員)

⇒回答

淀川区社会福祉協議会の支援により、三津屋地域と野中地域でリーフレットを作成したと聞いております。毎年少しずつでも増やしていきたいということで努力はしておりますが、ワークショップを開きながら進めていく必要がありますので、時間がかかります。最終的には18地域をめざしてやっていきたいという思いは淀川区社会福祉協議会も持っております。(鳶岡保健福祉課長)

③ 民生委員をしているので、見守りメールがよく届きます。大阪市内だけでなく、割と広域から入ります。(泉議長)

毎日、一、二件入ってきます。それだけ利用されているということです。ただ、登録されている方は少ないかもしれません。(福岡委員)

(2) 淀川区将来ビジョンについて

○淀川区将来ビジョンについての意見への対応方針及びパブリックコメント手続きの実施結果について説明。(西政策企画課長)

質疑応答・意見交換

① 地域活動協議会の活動に地域の企業が参加している場合がありますが、企業がどういったことを地域活動に求められているか知りたいと思います。地域を盛り上げていくためには一緒にやっていかなければいけないと感じています。(福岡委員)

地域活動協議会と企業との連携について、何らかの指針があれば地域としても動きやすいと思います。(山岡委員)

企業といっても各々状況に違いがあり、地域との関わり方も変わってくるので、その辺が難しいと感じています。(光在委員)

⇒回答

企業としても社会貢献したいと思っておられると感じますので、その思いをどのように引き出すのかということも考えていく必要があると思っております。いただいたご意見を参考にさせていただきます。(西政策企画課長)